

地域の健康拠点への変化を “CSK伝心電サービス”のご提案

SDGs
4つ実践

- 3.d 健康危険因子の早期警告
- 11.7 車椅子ルートマップの活動支援
- 8.5 若者や障がい者を含む人々の働きがい
- 4.4 技能を備えた若者を増加させる

新型コロナウイルスの影響により、健康意識が高まっています。この高まりを無駄にせず、自社・地域の健康を目指しましょう！

学生が考えた「**両親の職場にあったらいいな**」を形にしたものが“伝心電サービス”です！

☞ 既にお取り組みの健康増進に加えて、リスク回避のための心臓のチェックを取り入れていきませんか？

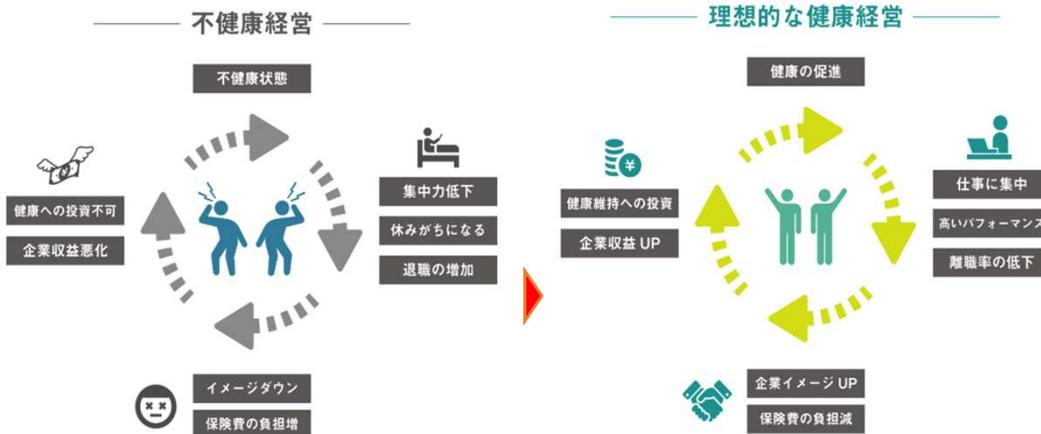
伝心電サービス定着により、採用施策・離職防止・医療費の削減を実現できます。

12万円から始められる健康経営 & SDGs

携帯型心電計の付与・運用 × 運用定着コンサルティング

※携帯型心電計の機器本体は、日本心臓財団推奨6つの中に紹介されています。

▶ **ヘルス機器を起爆剤に健康経営を運用設計から見直し。健康意識を持ち、長く働ける企業への変革をサポート。**



導入

- 課題の確認
- 経営士による設計

運用

- 担当者育成
- 状況に合わせた対応

定着

- 計測データの収集
- 社員さまのセグメント化

地域

- 地域の健康拠点(計測所)
- SDGs実践(学生と協力)

貴社は最小限の工数負担で取り組める！